

## 編集 後記

本誌前号に、創刊50周年記念事業として、掲載論文のカテゴリーの変遷を分析した論文が掲載された。ご覧になった方も多いただろう。個人的には、本誌の歴史が自分の歴史にほぼ重なることに一種感慨を覚えたが、内容的にも興味深いものがあった。それによれば、健康教育・ヘルスプロモーション、地域保健・地域医療、地域福祉、成人保健、老人保健、精神保健医療管理法制などが後期に急増傾向にある。本号の論文も、ほぼその傾向を反映しており、この半世紀に生じた疾病構造の変化や高齢化、学問的傾向を反映するものとして、本誌が、時代の鏡であることに疑いはない。しかし、この鏡が時代の全てを映しているとは限らない。

わが国は、現在人口の高齢化とともに、世代間文化格差の劇的な拡大を経験しつつある。若者世代には、体格・体力、食生活、性生活、社会行動、価値観、人生観、あらゆる面で革命的な変化が生じており、論議を巻き起こした「41歳寿命説」もまだ記憶に新しい。エイズ研究から若者世界に切り込んだ筆者らもそれを深く痛感する毎日である。明らかに「公衆」は変容しつつあり、わが国はそうした新たな公衆による社会へと徐々に塗り変わっていく。社会文化が変われば健康も健康観も変わるに違いない。本誌は、そうした時代の変化を映し出す鏡でなければならないだろう。また、現在色々な立場から、New public healthという言葉が使われるようになってきた。ヘルスリフォーム、社会科学というキーワードが躍る。本誌がそうした流れを先導し、映す鏡でもあることを望みたい。(木原正博)

## 次号予告

### 総説

統合失調症患者の生活の質(QOL)に関する文献的考察……………國方弘子, 他

### 原著

1999/2000年の三重県における乳幼児に対するインフルエンザワクチンの有用性

……………高橋裕明, 他

二次医療圏との関連からみた福岡県における指針障害者の受療実態……………渡辺ゆかり, 他

### 短報

ヒト生殖能力評価手法に関する予備的調査

受胎待ち時間調査法に関する検討

……………荒川千夏子, 他

### 資料

中学生の10年間における食生活・生活状況と健康状況の推移……………池田順子, 他

生活習慣が自覚症状に与える影響に関する研究

……………荒井比紗子, 他

介護保険制度における後期高齢要支援者の生活機能の特徴……………金 憲経, 他

日帰り介護施設(デイサービスセンター)の利用者の生活食事状況と嚥下機能の関係

……………森田一三, 他

## お知らせ

第50巻第2号のP116とP117の間に欠落があったため次ページにその部分を掲載いたします